

ふるさとふちゅう

再
発
見

【第60回】府中が農村だったころ（20）～府中町内の山（3）

前回、吳婆々宇山が歌われている学校の校歌をご紹介しました。記事を読まれた方から新たな情報をいただきましたので続編として紹介します。まず町内唯一の全日制高校である広島県立安芸府中高等学校です。

『広島県立安芸府中高等学校校歌』（2番）

「吳婆々宇の嶺に抱かれていちはうこずえの風さやか友の和開く
学び舎にまことの道を究めんと
好学愛知ひとすじに学ぶはわれら
安芸府高」（昭和55年、作詞・谷本勝
信、藏本正紀）

吳婆々宇山麓に位置する学校のシンボルは銀杏。すくすくと伸びる銀杏の木が安芸府高生の若さと可能性を表現していることです。

次に、府中小学校の前身の府中尋常高等学校です。昭和48（1973）年に府中小学校百周年を記念して『創立百周年記念誌』が発行されました。その書名は『ござそう』です。その中に現校歌とともに旧校歌が掲載されています。戦前の忠君愛國の教育から、戦後の自由な教育を目指すため、校歌も新しくしたのでしょうか。



卒業アルバムの写真

府中町文化財保護審議会委員
菅 信博

『府中尋常高等小学校校歌』（2番）
「見よ吳婆々宇の山高く昇る朝日の輝きはやがてわれらの希望なり
ざや学びに勤しみて務めはげまん君のため務めはげまん國のため」（明治6年）

情報提供された方は、小学生の時に遠足で吳婆々宇山を登ったそうです。昭和45（1970）年の卒業アルバムには、山道を登る行列が写っています。頂上での記念写真もあり、約280人の児童がクラスごとに並んでいます。『ござそう』には昭和48年にも4年生が岩谷観音へ、5年生が吳婆々宇山へ登山したとあります。小学生が海拔682.2メートルの頂上までよく歩いて登ったものだと感心します。また、これだけの人数による団体行動でトイレはどうしたのでしょうか。

私が「府中町魅力特搜部！」です。

私は「府中町魅力特搜部！」という名前で7月からX（旧Twitter）やInstagramに投稿しています。ジャンルは町内の文化財や飲食店などのスポット、イベント、町ゆかりの有名人など。心がけているのは、「実際に訪れること」。自転車や徒步で町内を回っていると小さな発見があるので、やっぱり楽しいです。また、Xではアンケート機能を使って「府中町クイズ」を出題しています。これまでに1番反響があったのは地名の読み方に関する問題。正答率が高く意外でした。みなさんも下記のクイズに挑戦してみてください。

こうした活動によって、たくさんの方々に府中町を知ってもらい、少しでも府中町が明るく元気な町になればいいなど願っています。

府中町クイズ（答えは右下）

府中町にあるこの地名は
なんと読むでしょうか？
【鹿籠】

- | | |
|-------|-------|
| ①しかかご | ②かろう |
| ③しかご | ④こごもり |

◆府中町公式Instagramで府中町まち記者の投稿を随時紹介しています。

私が魅力を感じる行事トップ3

- ①山田十二神祇
300年以上の歴史があると言われる伝統芸能。
- ②朝パッ君健康フェスタ
イオンモールで自分の健康を気軽にチェック。
- ③府中つばき祭り
さまざまなステージや出店があり、神楽で締めくくる町最強のお祭り。

私が魅力を感じる場所トップ3



①多家神社



②水分峡森林公園



③イオンモール広島府中

府中町クイズの答えは④です。